

東大特講√T紹介

東大入試での合格ライン突破に向けた3か月(3回)完成集中講座。
東大入試ならではの問題の正しい「解法ルート」が身につく、今までになかった東大合格の確実がある。

開始月自由 3か月完成 1講座から

※教材のお届けは、毎月一回お届け(3か月)と3回一括お届け(一部例外あり)を選択できます。詳しくは、HPのお申し込み内容をご確認ください。



「自己発問」で攻略する東大現代文

受講期間

3か月(3回)完成・毎月添削課題つき

受講費

15,000円(3回分一括払い・消費税込)

お届け教材

テキスト：B5版約50P(解答解説別冊40P挟み込み) 3冊

添削課題：3回

※各月(各回)テキスト1冊、添削課題1回をお届け。

制作チーム

海城高等学校 安達隆之先生 ほか

※所属は2005年11月現在

難解な文章を的確に読み解く視点と解答要素を洗い出し、スマートにまとめ上げる答案作成力を3か月で身につける。
ヒントとなる設問条件もない端的な設問を論理的かつスマートに考えることが求められる東大現代文では、「問題文攻略」「設問攻略」「答案作成」のそれぞれの段階で、主体的な「自己発問」により抽象的な内容やあいまいな所を解き明かしていくことが有効である。本講座では、的確な「自己発問」が身につくカリキュラムで、東大合格に必要なスマートな合格答案を作成する力を養成していく。

特長

●読解も設問も一貫して「自己発問」で攻略

読解においては、論展開・構造を的確に見抜くための「自己発問」、設問においては、東大頻出設問パターンを攻略する「自己発問」をナビゲート。あいまいをつぶし論理的に解答要素を洗い出し、的確にまとめ上げる力を養成する。

●「誌上添削」で採点者の視点をつかむ

モニター会員の解答による「誌上添削」を掲載。自己採点の参考になるだけでなく、採点者の視点、合格答案を作成する表現のコツまでわかる。

●読解の前提となる評論テーマ・用語・背景知識まで深められる

現代的で新しいテーマが出题される東大現代文に対応できるテーマ・評論用語・背景知識を深めるコーナー「テーマを深めるもう一歩」を設置。学習した文章から、付随する知識を有機的に結びつけていくことができる。

「自己発問」で攻略する 東大現代文 見本 【添削課題】

※ご紹介している内容・デザインは変更になる場合があります ※詳しいカリキュラムはHPでご案内しています

東大現代文 添削課題 第1回 P.2 355060000135520

氏名	
----	--

会員番号
会員番号の下4桁をご記入ください

--	--	--	--	--	--	--	--

志望学類

--	--	--	--	--	--	--	--

T現代文1-2

問一 「この携帯を通じた会話というものは、独り言の掛け合いなのではないか。(傍線A)」とあるが、筆者はどのようにしてそのように判断したのか、説明せよ。(15点)

設問攻略の自己発問

次の自己発問に答えてから、それを参考に解答を書こう。ただし、この自己発問の答えは採点の対象にはならない。

(1) 「携帯を通じた会話」の特徴は何か。

--

(2) 「独り言」の特徴は何か。

--

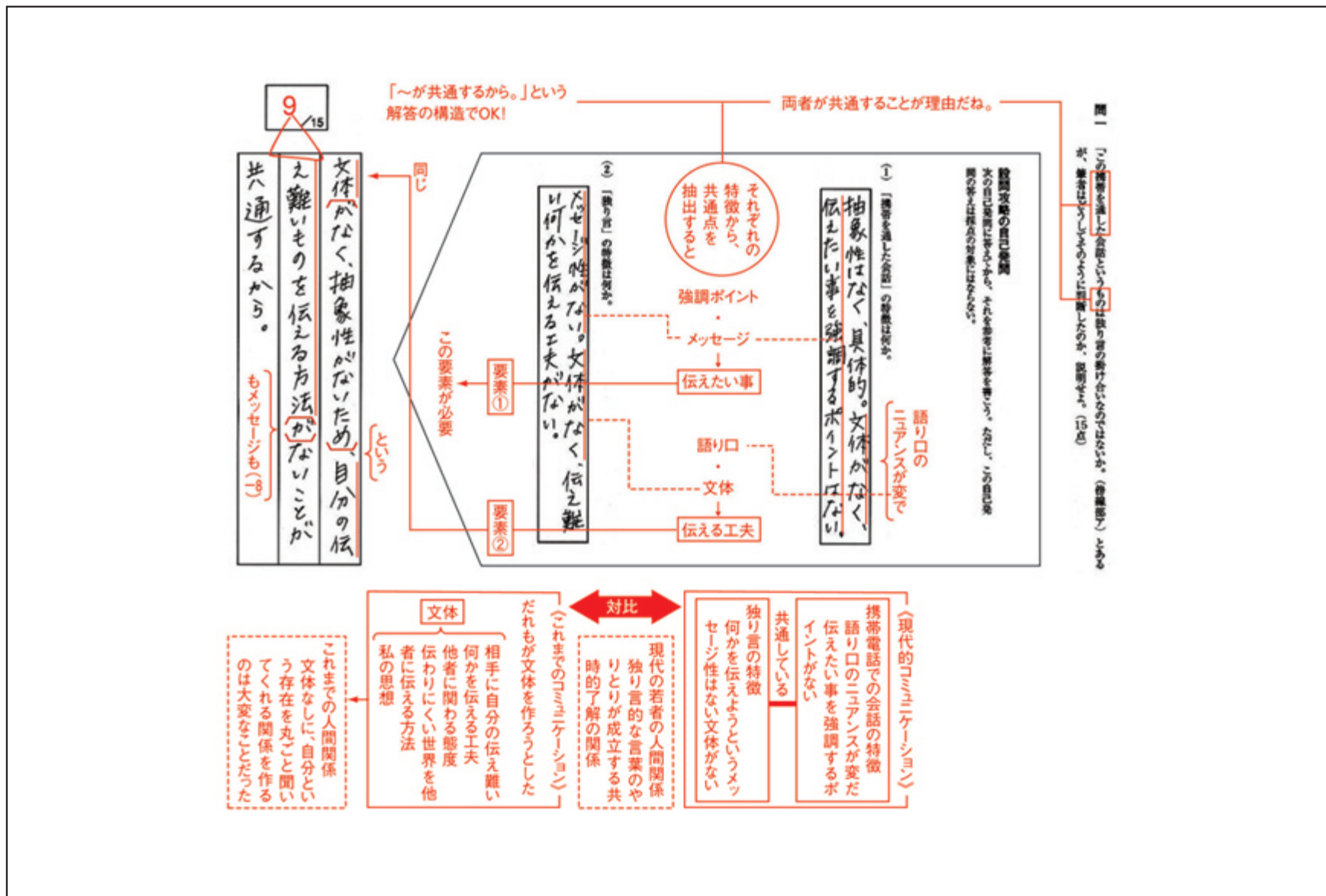
/15

--	--	--

http://tk.benesse.co.jp

「自己発問」で攻略する 東大現代文 見本 [添削朱筆答案]

※ご紹介している内容・デザインは変更になる場合があります ※詳しいカリキュラムはHPでご案内しています



http://tk.benesse.co.jp

「自己発問」で攻略する 東大現代文 見本 [添削課題 返却時 評価表]

※ご紹介している内容・デザインは変更になる場合があります ※詳しいカリキュラムはHPでご案内しています

東大特講 京大特講

あなたの評価表

解法ルート「解釈・構築・発信」それぞれのステップでの到達状況を確認しましょう。
Aが目指すべき到達段階です。

解法ルート	到達目標	評価	指導コメント
解釈 問二 設問読解	設問で求められていることを押さえられている	B	携帯電話・PCでの会話の特徴と独り言の特徴の共通点として、文体がないという点を読み取れている。 また、文体が自分(自分の思想)を表現するという筆者の主張について読み取ることができ、「文体」と「私(私の思想)」との関係性を踏まえて、筆者の主張の理由を説明しようと試みている点は良い。 ただし解答では、文体が「他者との関わり」においてどのような性質を持つのかという部分にも触れる必要がある。筆者の問題意識が、コミュニケーションの場での文体の必要性の変化に関するものであるという点を踏まえて、細部を読み取ろう。
問一 問二 資料読解	資料文中の筆者の考え・主張を読み取ることができる		
構築 問一 論拠に基づいた思考	「携帯を通じた会話」と「独り言」の特徴である「文体がない」という共通点から、筆者の判断根拠を指摘できている	B	「携帯を通じた会話」の特徴と「独り言」の特徴から、両者の共通点のひとつである「文体の欠如」について指摘できている。 あとは具体例の「伝えたいことを強調するポイントがない」「何かを伝えようとするメッセージ性はない」という共通項と、筆者が作ってきた文体の性質・そこでの人間関係を対比させて、「他者へのメッセージ性がない」という点を押さえよう。

もどる

個人情報保護への取り組みについて | Benesse 教育情報サイト

©Benesse Corporation 2005. All rights reserved.